

ecoサポート

環境学習推進センター情報誌第5号

＊ CONTENTS ＊

- P1 セミナーパークで環境学習を！
- P2 **特集**「環境にやさしい新エネルギーを考えよう！」
- P3 環境活動団体紹介、ミニ情報
- P4 環境学習推進センターからのお知らせ
やまぐちいきいきエコフェアのご案内

セミナーパークで環境学習を！

◇ビオトープで水生生物観察



今年5月、6月、7月と3回シリーズで「ビオトープ等手作り講座」を行いました。この講座で受講者は、ビオトープ、食物連鎖、生態系、生物多様性などについて講義やグループディスカッションを通して学び、実際にセミナーパークの自然ふれあいゾーンにある池を、受講者の皆さんと手作りで環境学習に利用可能なビオトープへと改修しました。



改修前は池の周りの足場が悪く、池の中を見ることが難しい場所でしたが、改修のおかげで観察路が出来たので、誰でものぞき込めるようになりました。早速、二島小学校の子供達がビオトープの生き物を観察に来てくれました。ヤゴ、ミナミヌマエビ、ドンコ、タイコウチ、クロメダカ、ツチガエルなどを間近で観察することが出来、楽しみながら学ぶことができたようです。



◇トリムコースで環境クイズラリー

自然ふれあいゾーンは、身近な自然に触れながら山口県の風土、文化などが体験学習できるゾーンとなっています。ここには1番から17番までのポイントを探しながら、県木・市町木展示園や岩石標本園、野鳥観察園などをぐるっと散策できる全行程約1kmのトリムコースがあります。このコースを利用して「環境クイズラリー」に挑戦することができます。クイズ問題は「温暖化問題を考える編」、「自然環境を考える編」の2つのテーマ別でそれぞれ17問。体づくりやお散歩しながら、環境についてお勉強しませんか？もちろん環境学習会にも活用できます。



お問い合わせ等は環境学習推進センターまで。(TEL 083-987-1110)



特集

CO₂削減!

「環境にやさしい新エネルギーを考えよう！」

食に関する問題が頻繁にニュースになっている昨今、日本の食料自給率(カロリーベース)が40%(2005年)と低いことに驚いていたけれど、日本のエネルギー自給率はどういうと、なんとわずか4%(2005年)!

私たちの日常生活に欠かせない電気やガス、ガソリンなどのエネルギー。そのエネルギー消費に伴うCO₂排出量は世界で第4位です。日本では、エネルギー自給率の向上や地球温暖化防止対策に資するべく、各地で環境にやさしい国産エネルギーである新エネルギーが積極的に導入されています。

さて、山口県ではどうでしょう? 県内での新エネルギー(風力発電)について調べてみました。



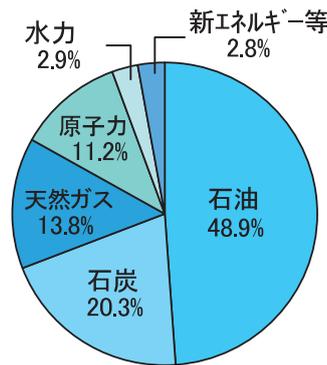
「新エネルギー」とは?

資源量が一定で再生不可能な資源であることから枯渇性エネルギーと呼ばれる石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料に対し、自然界で起こる現象で絶えず補給される太陽、風力、バイオマス、地熱、水力などから生成される再生可能エネルギーのうち、その普及のために支援が必要なものとして政令で指定されるものを新エネルギーと言います。

現在、指定されている新エネルギーは、風力発電、太陽光発電、太陽熱利用、地熱発電、バイオマス発電などがあります。

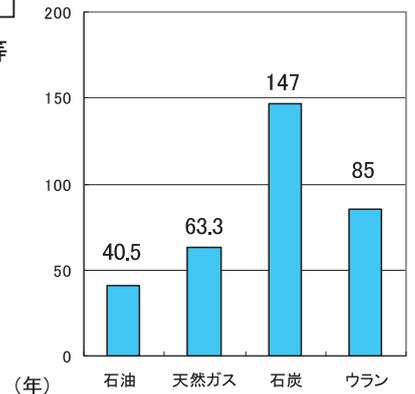


日本のエネルギー供給構成
2005年度



出典: 資源エネルギー庁
「総合エネルギー統計」

世界のエネルギー資源可採年数



出典: BP統計 2007(石油、天然ガス、石炭 2006) OECD/NEA-IAEA URANIUM 2005(ウラン 2005)



山口県内でも導入されている!



日置風力発電所(長門市日置)

山口県は新エネルギー導入の指針となる「山口県新エネルギー導入ビジョン」を平成12年3月に策定し、導入が期待される新エネルギーについて、エネルギー毎に目標値(2010年度)を設定しました。例えば、太陽光発電は56,000kW、風力発電では7,000kWの導入を目標としており、県内では現在、下表のとおり、5年前と比べると、太陽光は約2倍、風力は10倍以上に増えています。

<山口県の太陽光、風力発電の設置状況>

年度	太陽光発電		風力発電	
	件数	設備容量(kW)	基数	設備容量(kW)
H15(年度末)	4,046	15,073	5	6,000
H20(7月末)	8,249	29,829	37	74,000

出典: 中国電力株式会社



いい風でクリーンエネルギーを♪

上の写真は、長門市日置の千畳敷の東隣に設置されている日置風力発電所の風車です。中電プラント(株)が建設・運転・保守を行っています。風速2.5m~25mで発電し、風速14mより2,000kWの発電が可能で、発電された電気は中国電力(株)に売電。年間利用率は26.5%です。一般家庭の約1,000軒分の電気をまかなうことができるそうです。この周辺には油谷風力発電所(750kW-2基)、楊貴妃の里ウィンドパーク(1,500kW-3基)も設置され、運用されています。

風力発電は、風速が変動するため出力電力が不安定で、騒音問題や鳥の衝突などの問題もありますが、枯渇する心配がなく、発電時に温室効果ガス排出量が少ないというメリットがあります。

山口県の日本海側は北海道や東北に比べ、冬の落雷による故障時に雪が少ないので対応しやすいため稼働率がよく、風況もいいので、立地に適した場所として注目されているそうです。

風車の建設は周辺の環境に配慮する方策で進められ、デメリットも改善されているようです。

風力発電も太陽光発電も太陽のおかげで得られる新エネルギー。私たちも今一度、自然の大切さを見直し、未来に向け、このエネルギーを生かせる社会を作っていきましょう。



つなげるつながる環境活動団体の輪

♪環境活動団体さんをご紹介します！

山口県内には、環境問題・環境学習について、さまざまな取組・活動を行っている方々がたくさんいらっしゃいます。現在、環境学習推進センターに登録されている環境活動団体は98あります。今回は、「宇部おもちゃ病院」(宇部市西岐波)をご紹介します。

宇部おもちゃ病院



代表(院長)の真鍋 惇さんにインタビューをしました♪



○まずは、会の紹介をお願いします。

2004年10月、壊れては捨てられ、ごみになっていく子供たちの玩具を修理再生しようと、宇部市域の定年退職した理工系シニアに呼びかけて結成したNPO・ボランティア団体です。

現在、会員数は29名、うち玩具を修理するドクターは20名、受付や問診をするナースが9名です。

(会の理念)

私たちは、おもちゃに対する子供達の愛着や想像心を「使い捨て文化」から守り、おもちゃの再生を共に喜ぶことを通じて「ものを大切に作る心」を育て、おもちゃの内部構造や動く仕組みを子供達に見せて「物への関心」や「科学する心」を育てることを目的とします。



○どんな活動をしているのですか？

定例開院 毎月第2土曜日 午後1時から 於:宇部市民活動センター

臨時開院 依頼や委託などで各種イベントに参加して開院 年間10回程度

特別活動 講習会、研修会、小学生のための工作教室など

ふれあい自助具工房 障害のある人の生活自立を補助する道具を依頼により製作する活動

2007年5月より新規事業として開始 申込は、定例開院の時および随時電話で受付

一口実績 取り扱い玩具累計 1312件 その84%を修復しました。

詳しいことはホームページにて <http://homepage2.nifty.com/ubetoy-h/>



○今後、どのような活動を行っていきたいですか？

玩具の修理、自助具の制作の共通項は、行政や企業が担えない市民ニーズに応える技術応用事業と考えています。現在の事業の継続と新規事業の創造、そのためにNPO・ボランティア団体としての組織性を高める必要性を感じています。環境との関連も一層追求できたらと思っています。

○ありがとうございました！何か伝えたいことはありますか？

上に述べたことを実現するには、多くの方々の参加や支援をお願いしなければなりません。技術系はもちろん、事務局として会を動かして下さる人の参加も熱望しています。年齢・性別・経歴問わず、いつでも大歓迎ですので、ご連絡お待ちしております。

ミニ情報

知っているようで知らない・・・「ビオトープ」ってなんだっけ？

ビオトープの語源はギリシャ語で、「生命」を意味する Bio と「場所」を意味する Top の合成語。本来の生態系が保たれた生息空間を意味します。最近では、生態系としての、森林や川、池、沼、湿地、草地、雑木林などの総称としても使われています。ドイツでは 1976 年に人工的に形作られた河川などの流路形態をより自然に近い形に復元することなどを盛り込んだ自然保護法が制定され、企業、政府、市民が一体となって、森や林、池などを整備し、生き物が生活できるビオトープづくりが広がっていきました。日本でも生物たちに失われた生息地を取り戻すための自然保護活動のひとつとして導入され、十年程前から身近な自然の復元が盛んに行われるようになってきました。最近では学校教育の中に取り入れられ、自然のしくみや生物多様性の重要性について体験的理解を促すとともに、情報収集能力や伝達能力など市民行動の技能を育む非常に優れた教材として注目されています。



環境学習推進センターからのお知らせ

○環境学習の講師を派遣します！《環境学習指導者バンク派遣制度》
自主的な勉強会や学校の総合学習、公民館・児童館・PTA 活動などで活用されています。今年度は132回の学習会で利用いただき、6,180人の受講がありました。(H20.8.31 現在)

* 152人の登録指導者が環境のさまざまな分野の講演や体験学習を行います。
* 講師の謝金と旅費は県から支払われます。
実施内容のご相談にも応じます。お気軽にお問い合わせください。

○環境学習教材の貸出、ご相談に応じます！

地域や学校、会社等での環境学習などに活用していただくために、環境に関する図書やビデオ等の教材を無料で貸し出しています。もちろん、個人学習でもOK。現在、図書311冊、ビデオ・DVD等208本、紙芝居7話、環境啓発パネル10種類。**(子供向けパネルも追加しました！)**

また、「こんな教材があったらいいな」等の声も受け付けますので、お気軽にご相談ください。

→お申込・お問い合わせは環境学習推進センターまで。
詳しくは、当センターHPをご覧ください。



いきいき環境塾 スタンプラリー 実施中！

施設を巡って、環境について学ぼう！

山口県立きらら浜自然観察公園、秋吉台エコ・ミュージアム、つのしま自然館及び環境学習推進センターで開催されるスタンプラリー対象講座を受けた方にスタンプカードを差し上げます。4つのスタンプが揃ったら、「いきいき環境塾修了生」修了証と記念品を差し上げます！

<実施期間>

平成23年3月まで

詳しくは、

センターHPをご覧ください。



イベントのご案内

やまぐちいきいきエコフェア

ストップ！地球温暖化

～あなたも私も“知っちゃう”から“しちゃう”へ

暮らしに密接に関連し着実な対応が求められる「地球温暖化防止」、「循環型社会の形成」及び「自然共生」について、理解と認識を深め環境にやさしい行動や生活の実践の輪を広げていくために、子どもから大人まで楽しみながら環境について学べる、参加・体験型イベント「やまぐちいきいきエコフェア」が開催されます。

(総称:きらら物産・交流フェア2008「きらら物産フェア」「山口住宅フェア」との合同開催)

《主なイベント》

★きらら元気ドーム

- (1) 民間団体の活動紹介「山口エコアクション百花繚乱」(14 団体)
- (2) 企業、関係機関等の取組紹介「エコでつながる環境社会」(26 社・団体)
- (3) 環境学習体験教室「入門！エコ体験教室」
- (4) エコ工作教室「作ってみようエコ工作」(14 団体)
- (5) 環境学習に関する紹介「すすめ！環境学習」

①エコリーダースクール ②こどもエコクラブの取組

- (6) エコアトラクション
- (7) 環境保全功労者等表彰
- (8) パネル展示
- (9) ステージイベント(5団体)
- (10) その他

・「ストップ！地球温暖化クイズラリー」

1 日先着750組(10時スタート)

・カーボンオフセットの試行

詳しくは
センターHP
見てね～！



<日時>

平成20年10月18日(土)

9:00 ~ 16:00

平成20年10月19日(日)

9:00 ~ 15:00

<場所>

山口きらら博記念公園

(山口市阿知須きらら浜)

★スポーツ広場(屋外会場)

- (1) エコサイエンス教室
- (2) レジ袋削減、生ごみリサイクル等の展示・紹介
- (3) エコカー展示・試乗会
- (4) NHK 地球だい好き
環境キャンペーン山口フェスティバル



《お問い合わせ先》やまぐちいきいきエコフェア実行委員会事務局(環境学習推進センター内 TEL:083-987-1110)

<編集後記> 通勤途中にある橋の下の川原に、たくさんのごみがあっいつも気になっていました。そこは人間が入るのが難しい場所でどうやったら掃除できるのか、誰か掃除するかな?と考えてました。あるとき、そこはごみを覆い隠すように、緑(雑草)でいっぱいになりました。人間がした不始末を自然が隠してくれたという結末に私は言いようのない罪悪感を覚えました。あなたはどう思いますか?(あ)

発行元 (財)山口県ひとつくり財団 県民学習部 環境学習推進センター
〒754-0893 山口市秋穂二島1062 (山口県セミナーパーク内)
TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720
URL <http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/>